

KVK 台付サーモスタット式混合栓

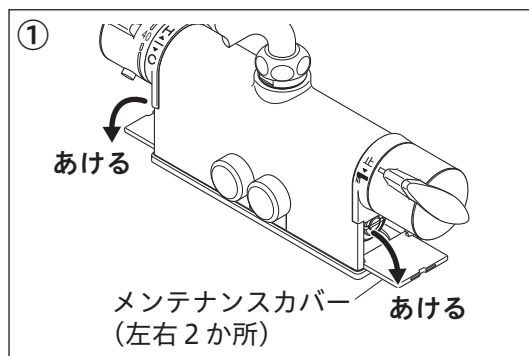
※お使いの製品によっては形状や操作方法が異なります。操作方法が分からない場合は取扱説明書をご参照ください。

製品例	メンテナンスカバー側面／本体に止水弁あり	KM771(T)／KM3011T等	1～2ページ
	メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓あり	KM3008(R/L)	3～4ページ
	メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓なし	MTB200等	5～6ページ

●メンテナンスカバー側面／本体に止水弁あり

配管に水抜き栓がない場合のみ

① 左右のメンテナンスカバーを開けます。

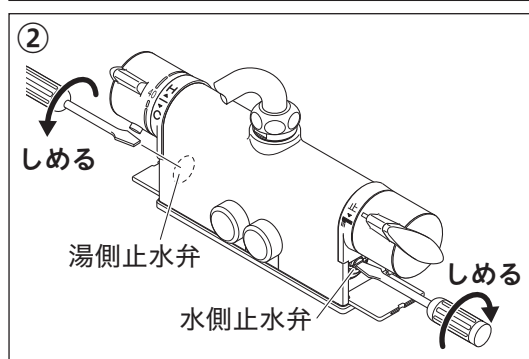


配管に水抜き栓がある場合

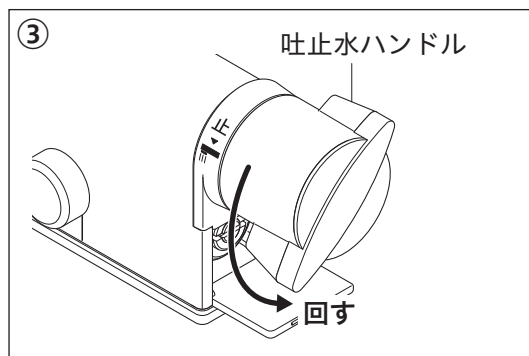
② 配管の水抜き操作をします。

配管に水抜き栓がない場合

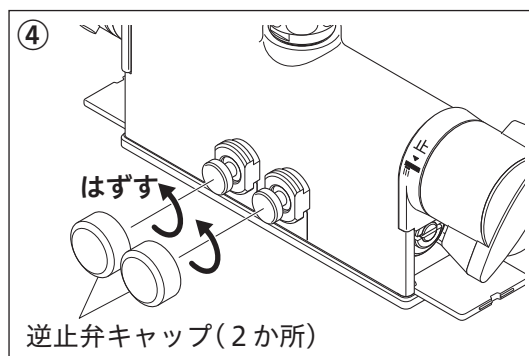
② 本体の湯水の止水弁をしめます。



③ 吐止水ハンドルを吐水側に回して、湯水が出ないことを確認します。
※ 確認後、吐止水ハンドルは吐水側に回した状態から動かさないでください。



④ 湯水の逆止弁キャップをはずします。

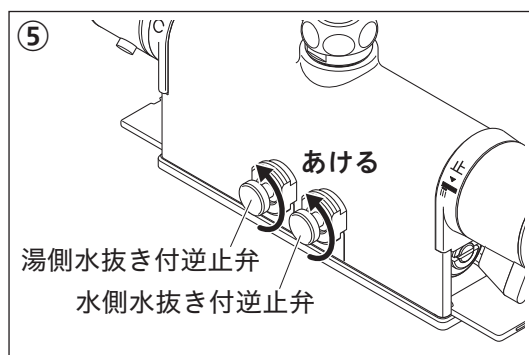


⑤ 湯水の水抜き付逆止弁をあけて水を抜きます。

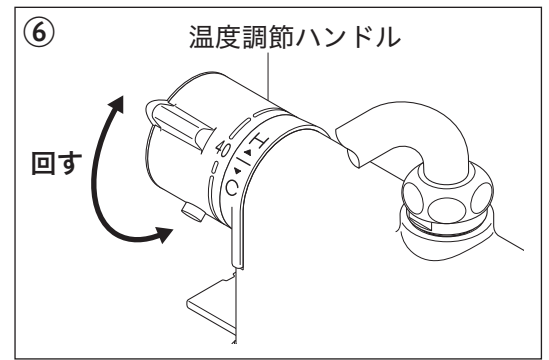


警告

湯側水抜き栓付逆止弁の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



⑥ 温度調節ハンドルを高温側に回し、次に低温側に回します。



水抜き後、通水を再開する

上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。

【お願い】 必ず水抜き栓付逆止弁がしまっていることを確認して、吐止水ハンドルを止水位置にしてから通水を再開してください。

通水を再開しても水が出ない場合

吐止水ハンドルを吐水側にして、しばらくお待ちください。

これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

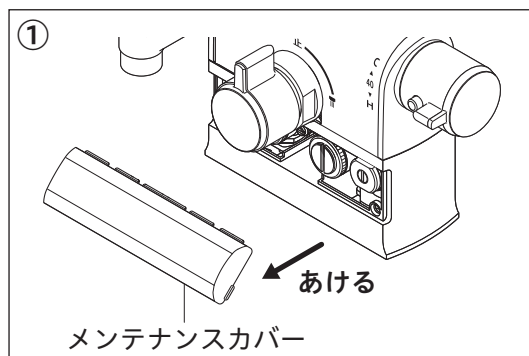
KVK 台付サーモスタット式混合栓

※お使いの製品によっては形状や操作方法が異なります。操作方法が分からない場合は取扱説明書をご参照ください。

製品例	メンテナンスカバー側面／本体に止水弁あり	KM771(T)／KM3011T等	1～2ページ
	メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓あり	KM3008(R/L)	3～4ページ
	メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓なし	MTB200等	5～6ページ

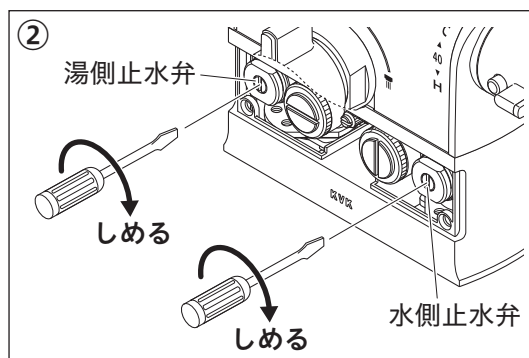
●メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓あり

① メンテナンスカバーを開けます。



配管に水抜き栓がある場合

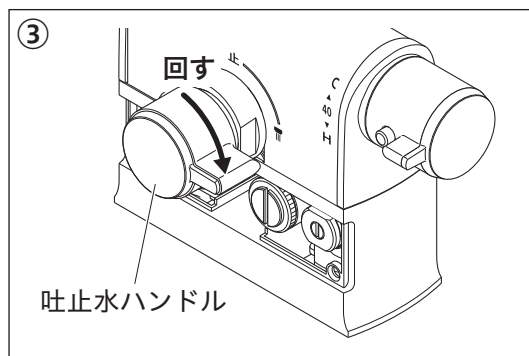
② 配管の水抜き操作をします。



配管に水抜き栓がない場合

② 本体の湯水の止水弁をしめます。

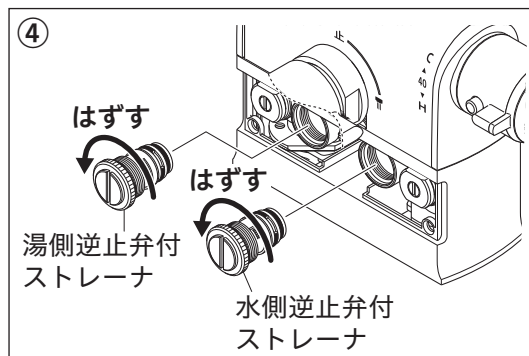
③ 吐止水ハンドルを吐水側に回して、湯水が出ないことを確認します。
※ 確認後、吐止水ハンドルは吐水側に回した状態から動かさないでください。



④ 湯水の逆止弁付ストレーナをはずして水を抜きます。

警告

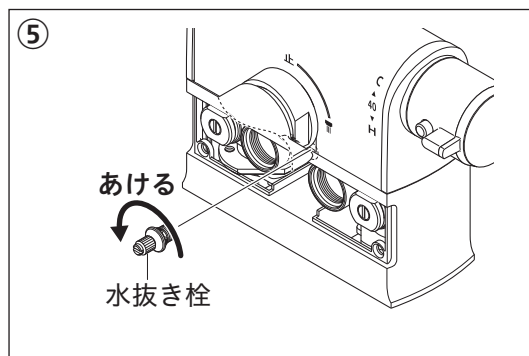
湯側逆止弁付ストレーナの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



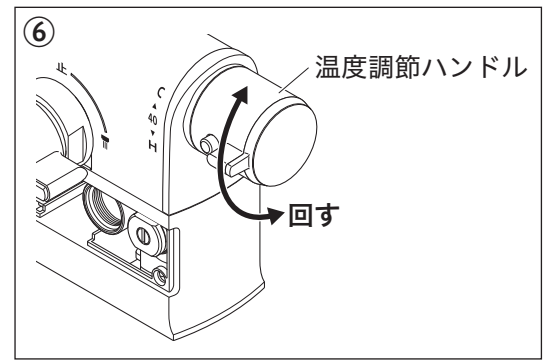
⑤ 水抜き栓をあけて水を抜きます。

警告

水抜き栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



⑥ 温度調節ハンドルを高温側に回し、次に低温側に回します。



水抜き後、通水を再開する

上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。

【お願い】必ず逆止弁付ストレーナと水抜き栓がしまっていることを確認して、吐止水ハンドルを止水位置にしてから通水を再開してください。

通水を再開しても水が出ない場合

吐止水ハンドルを吐水側にして、しばらくお待ちください。

これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

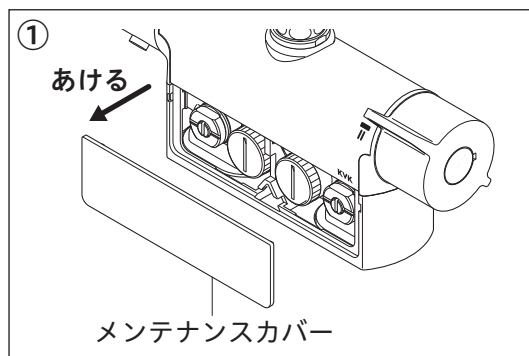
KVK 台付サーモスタット式混合栓

※お使いの製品によっては形状や操作方法が異なります。操作方法が分からない場合は取扱説明書をご参照ください。

製品例	メンテナンスカバー側面／本体に止水弁あり	KM771(T)／KM3011T等	1～2ページ
	メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓あり	KM3008(R/L)	3～4ページ
	メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓なし	MTB200等	5～6ページ

●メンテナンスカバー前面／本体に水抜き栓なし

① メンテナンスカバーを開けます。

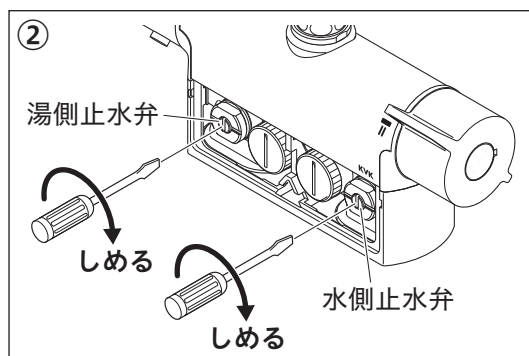


配管に水抜き栓がある場合

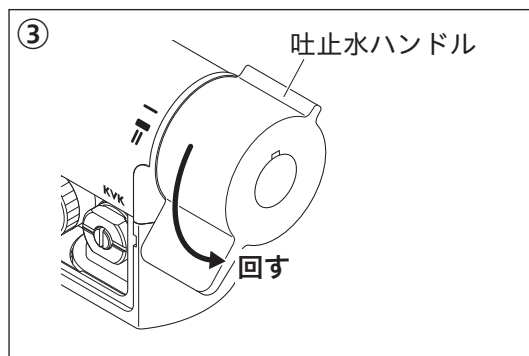
② 配管の水抜き操作をします。

配管に水抜き栓がない場合

② 本体の湯水の止水弁をしめます。



③ 吐止水ハンドルを吐水側に回して、湯水が出ないことを確認します。
※ 確認後、吐止水ハンドルは吐水側に回した状態から動かさないでください。

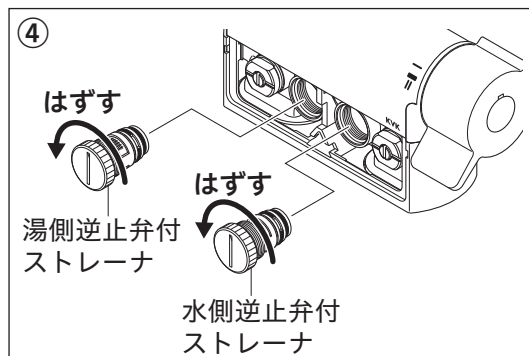


④ 湯水の逆止弁付ストレーナをはずして水を抜きます。

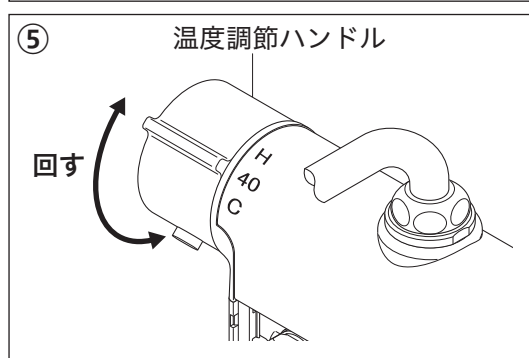


警告

湯側逆止弁付ストレーナの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



⑤ 温度調節ハンドルを高温側に回し、次に低温側に回します。



水抜き後、通水を再開する

上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。

【お願い】必ず逆止弁付ストレーナがしまっていることを確認して、吐止水ハンドルを止水位置にしてから通水を再開してください。

通水を再開しても水が出ない場合

吐止水ハンドルを吐水側にして、しばらくお待ちください。

これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。